

Ⅱ 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審 議 対 象 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
審 議 対 象 件 数	1, 175件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽 出 件 数	2件	（審議概要） 1 抽出事案について
一 般 競 争	2件	
指 名 競 争	0件	
随 意 契 約	1件	
○ 委員からの 意見・質問 ○ それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	【発注実績について】 特に意見なし 【抽出事案について】 1 [新田原飛行場周辺（7）航空機騒音度調査業務]（一般競争（1者応札）） ・ 本業務の業務内容を説明していただきたい。 ・ 本業務は総合評価落札方式により発注しているが、評価基準の内容について説明していただきたい。 ・ 本業務をこのタイミングで発注した理由を説明していただきたい。 	

	意 見 ・ 質 問	回 答
○ 委員からの 意見・質問 ○ それに対する 回答等	- 過去に実施した騒音測定と同様の手法で実施するのか。 - どの飛行場でも同様であると考えられるが、発注のトリガーとなるような基準があれば良いのではと考えられる。 - どのようにして予定価格を算出したのか。 - 本案件は1者応札となっているが、他の業者でも履行が可能なものなのか。 - 本案件は3回目の入札を実施しているが、価格交渉等は実施したのか。 - 入札説明書の記載内容の一部に不備が見受けられる。 - 今後も同様の発注があることも考えられるため、1者応札を防止する意味でも入札参加者を増やすための取り組みを続けていただきたい。 2 [ガソリン外購入等] (一般競争 (1者応札)) - ガソリンの価格変動をどのようにして契約単価に反映しているのか。 1者応札となっている理由を説	る。 - 区域等の指定基準については防音事業を開始した当初から変わっていないため、騒音測定の手法も過去と同様としている。 - 今後検討していきたい。 - 本案件の契約相手方を含む3者から見積を徴取している。 - 他局において、本案件の契約相手方とは異なる業者が履行した実績自体はある。 - 実施していない。 - 今後の発注の際は修正したいと考えている。 - 承知した。 - 経済産業省資源エネルギー庁が公表する給油所小売価格調査の月平均額を変動価格とし、入札日直近における小売価格調査額との変動率を算出し、それを契約単価額に反映させ、毎月の請求単価とすることとしている。 - 本案件は、当初の公告時に入札

	意 見 ・ 質 問	回 答
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	明していただきたい。 - 給油所の数や条件が厳しく、参加可能な業者が限られてくると思われる。 - 給油カードを発行して給油を行う条件自体が、既得権益のような形になっているのではないか。 - ガソリンのような燃料類の調達を確実に行うため、例えば自衛隊の部隊や他の官署と一括して調達するなど、何らかの措置が必要なのではと考えられる。 3 [記念メダル制作業務] (公募・企画競争 (1 者応募)) - どのような業務なのか、調達の必要性を含めて説明していただきたい。	不調となり、再公告を行ったものである。当初の公告時、入札辞退した業者に事情等を聴取したところ、入札日直近の価格変動が激しく、企業判断により入札辞退したとのことであった。 - この契約は九州防衛局だけでなく、長崎防衛支局や佐世保・別府両防衛事務所における官用車の給油等も想定しており、条件を緩和すると各防衛事務所等の業務遂行に支障があるため、このような条件としている。 - 令和 8 年度においては契約相手方が変わっているため、必ずしも既存の契約相手方が有利とは限らないと考えている。 - 今後検討していきたい。 自衛隊や米軍においては、感謝の意を表すときや他部隊との交流の際に、コミュニケーションツールとしてメダル等の記念品を交換する慣例がある。これまで九州防衛局として、自衛隊や米軍から記念メダル等をいただいていたが、九州防衛局側から感謝の意を表す記念品がなかったため、九州防衛局として直接米軍や各自衛隊と調整する機会が増加していることを背景とし、防衛省・自衛隊、米軍および関係自治体等との連携を強化する必要があることから、仕様書に示した交流用の記念メダルを

	意 見 ・ 質 問	回 答
○ 委員からの 意見・質問 ○ それに対する 回答等	・ 記念メダルのデザインは別途発注したものなのか。 ・ 定期的に３００個単位で発注するものなのか。 ・ ３００個という数量は、どのようにして決定したのか。	３００個調達したものである。 ・ 過去にいただいた記念メダル等を参考にし、九州防衛局職員自らデザインしたものである。 ・ 在庫状況を確認しながら発注することとなるため、定期的に発注するとは限らない。 ・ 九州防衛局としてこのような交換用の記念品の製作を発注した実績がなかったため、関係自治体や部隊等の数をもとに、あくまで見込み数量で決定している。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

２．談合疑義案件の処理状況について		
談 合 疑 義 件 数	０ 件	(審議概要) なし
	意 見 ・ 質 問	回 答
○ 委員からの 意見・質問 ○ それに対する 回答等	なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	